

Optical Disc Archive Filer

ヘルプ

ODS-D55U

ODS-D77U

ODS-D280U

ODS-D380U

Optical Disc Archive Filer について

概要

以下の機能を実行することができます。

- **ファイル操作**
 - ODS-D55U/ODS-D77U/ODS-D280U/ODS-D380U に対してファイルの書き込みと読み出し（アーカイブ / リトリーブ）
- **リスト表示画面でジョブ管理**
 - ジョブグループの進捗確認
 - ジョブグループキャンセル / 削除 / レポート作成 / 再登録 / ジョブ停止 / ジョブ再開などの操作
- **ログ管理**
 - 本ソフトウェアで発生した不具合の記録
 - ログをテキスト形式でエクスポート

ヒント

ジョブグループ / ジョブ

1回のドラッグアンドドロップ操作で指示されたファイル / フォルダ転送をひとつのジョブグループと呼びます。ドラッグアンドドロップ操作の代わりに、ショートカットキー操作でファイル / フォルダを選択、コピー、貼り付けて転送を指示することもできます。

ジョブグループの中の、ひとつひとつのファイル / フォルダ転送をジョブと呼びます。

起動と終了

起動する

本ソフトウェアを起動するには、以下のいずれかを実行します。

<Windows>

- ODS-D55U/ODS-D77U/ODS-D280U/ODS-D380U に接続したコンピュータで [スタート] ボタンをクリックし、[Sony Optical Disc Archive Software] > [Optical Disc Archive Filer] を選択する。
- 本ソフトウェアをインストールしたフォルダーを開き、[ODAFiler.exe] をダブルクリックする。
- インストール時にショートカットアイコンをデスクトップに作成している場合は、アイコンをダブルクリックする。

<Mac>

- Dock > 「Optical Disc Archive Filer」を選択する。
- アプリケーションフォルダー > 「Optical Disc Archive Filer」を選択する。


ご注意

Content Manager、File Manager をご使用中は Optical Disc Archive Filer を起動することはできません。


終了する

以下のいずれかを実行します。

<Windows>

- ウィンドウ右上の  (閉じる) ボタンをクリックする。
- タイトルバーを右クリックして表示されるコンテキストメニューから [閉じる] を選択する。
- 本ソフトウェアが選択された状態で、Alt + F4 キーを押す (Alt キーを押したまま F4 キーを押す)。
- メニューバーから [ファイル] > [閉じる] を選択する。

<Mac>

- ウィンドウ左上の  (閉じる) ボタンをクリックする。
- メニューバーをクリックして表示されるメニューから [Optical Disc Archive Filer] > [Optical Disc Archive Filer を終了] を選択する。
- 本ソフトウェアが選択された状態で、Command + Q キーを押す (Command キーを押したまま Q キーを押す)。

各部の名称と働き

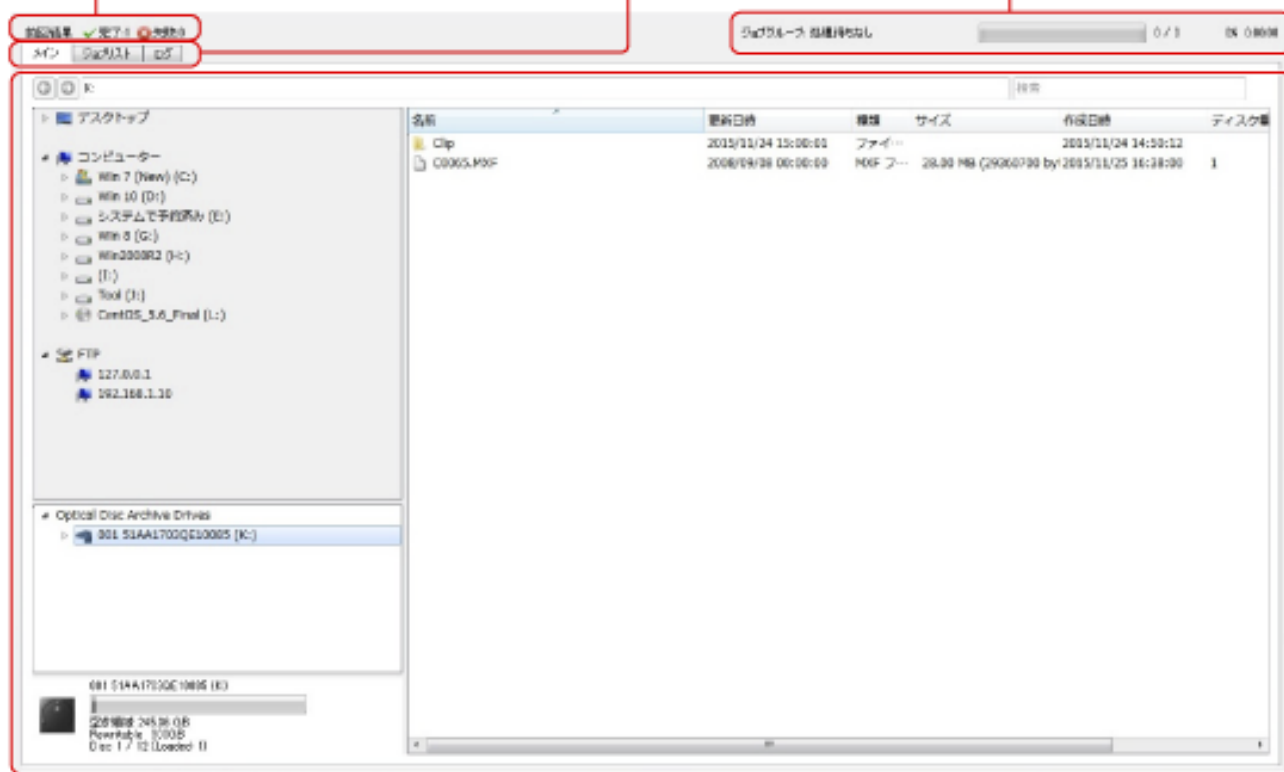
共通画面

<Windows>

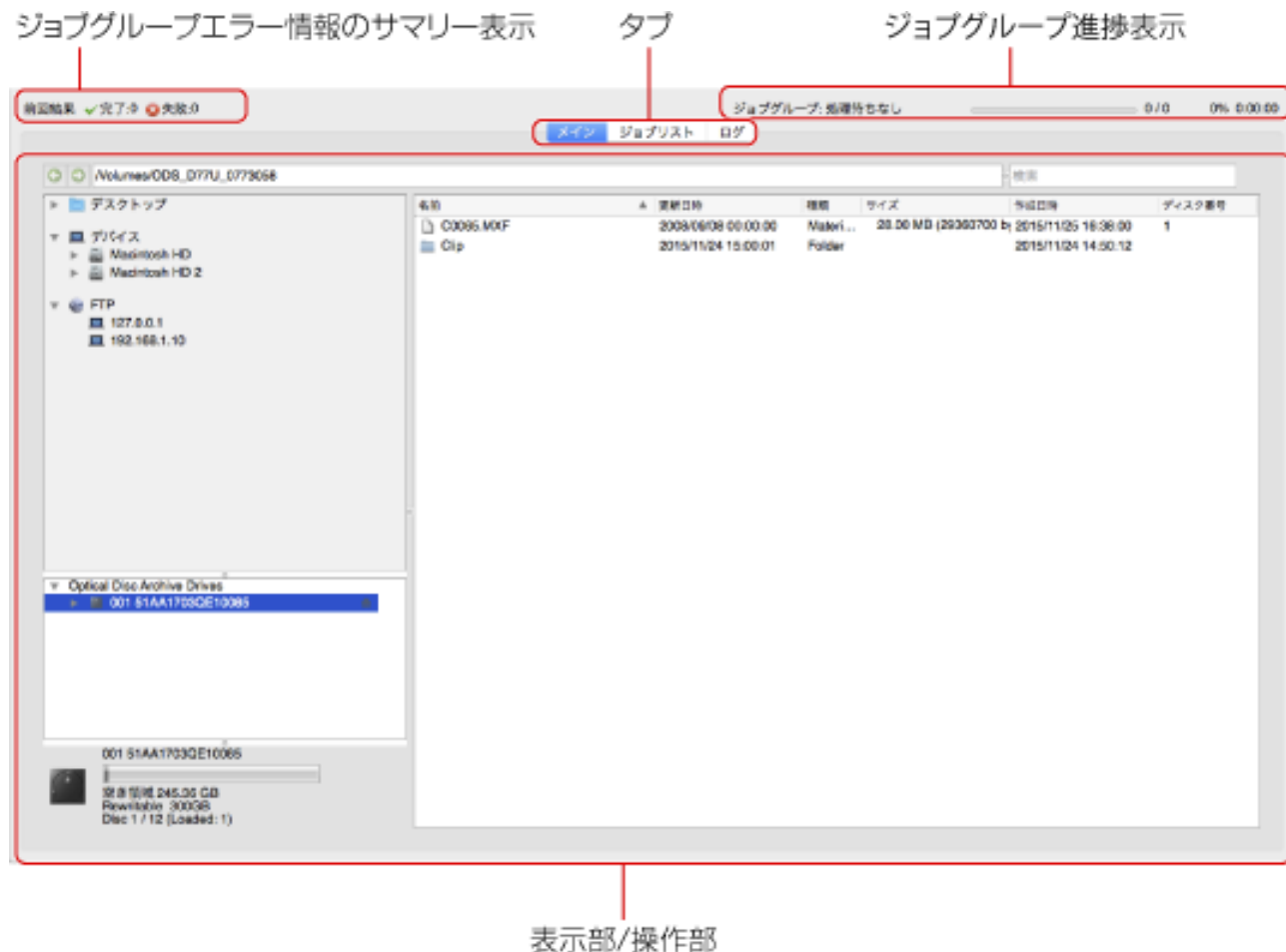
ジョブグループエラー情報のサマリー表示

タブ

ジョブグループ進捗表示



<Mac>



ジョブグループエラー情報のサマリー表示

ジョブグループ実行結果のサマリー情報を表示します。

タブ

メイン画面、ジョブリスト画面、ログ画面を切り換えます。

ヒント

各タブの選択は Tab およびカーソルキーでも行えます。

ジョブグループ進捗表示

本ソフトウェアの現在の状態、プログレスバーとパーセンテージ表示、残りジョブグループ数、推定残り時間を表示します。

- ジョブグループ（現在の状態）

現在の状態にあわせて [処理中]/[停止中]/[処理待ちなし] を表示します。

- プログレスバー

全ジョブグループの進捗状態をバーで表示します。

- 残りジョブグループ数

終了したジョブグループ数 / 登録された全ジョブグループ数を表示します。

現在の状態が [処理待ちなし] になった場合または本ソフトウェアを再起動した場合は [0/0] 表示になります。

- パーセンテージ表示
全ジョブグループの進捗状態をパーセンテージで表示します。
- 推定残り時間
全ジョブグループが終了するまでの推定残り時間を表示します。

表示部 / 操作部

タブで選択した画面が表示されます。

メイン画面

ジョブグループの登録操作を行う画面です。

画面は Mac の例です。

ツリー部(上)



パス入力部

目的のファイル / フォルダのパスを直接入力して、表示させることができます。

ヒント

UNC (Universal Naming Convention) に対応しています。

[戻る / 進む] ボタン

ひとつ前の画面またはひとつ先の画面に移動します。

ファイル検索部

ファイル名またはフォルダー名をテキストで入力して検索できます。

ツリー部（上）

Optical Disc Archive Drive を接続したコンピュータのローカルボリュームがツリー表示されます。

ツリー部（下）

Optical Disc Archive Drive のボリュームがツリー表示されます。

警告付きアイコンが表示されている Optical Disc Archive Drive のボリュームは使用できません。以下の場合に警告付きアイコンが表示されます。

- Optical Disc Archive Utility でメディアを操作している
- ドライブまたはメディアの異常を示すアラームが表示されている
- リモートデスクトップで本ソフトウェアを操作しようとしている

ファイル / フォルダー表示部

ツリー部で選択したボリュームのファイルやフォルダーが表示されます。

ファイル名 / フォルダー名検索を行った場合は、検索結果が表示されます。

ヒント



- カートリッジ内の複数のディスクに跨って記録されているファイルはこのアイコンで表示されます。
- Optical Disc Archive Drive のボリューム（ツリー部（下））を選択している場合は、各ファイルが記録されているディスク番号が表示されます。ファイルがディスクを跨いで記録されている場合、例えばディスク 1 と 2 に跨って記録されている場合は「1-2」と表示されます。
- ファイル名 / フォルダー名の検索にはワイルドカード（*：任意の長さの文字、？：任意の 1 文字）を使用できます。

使用領域

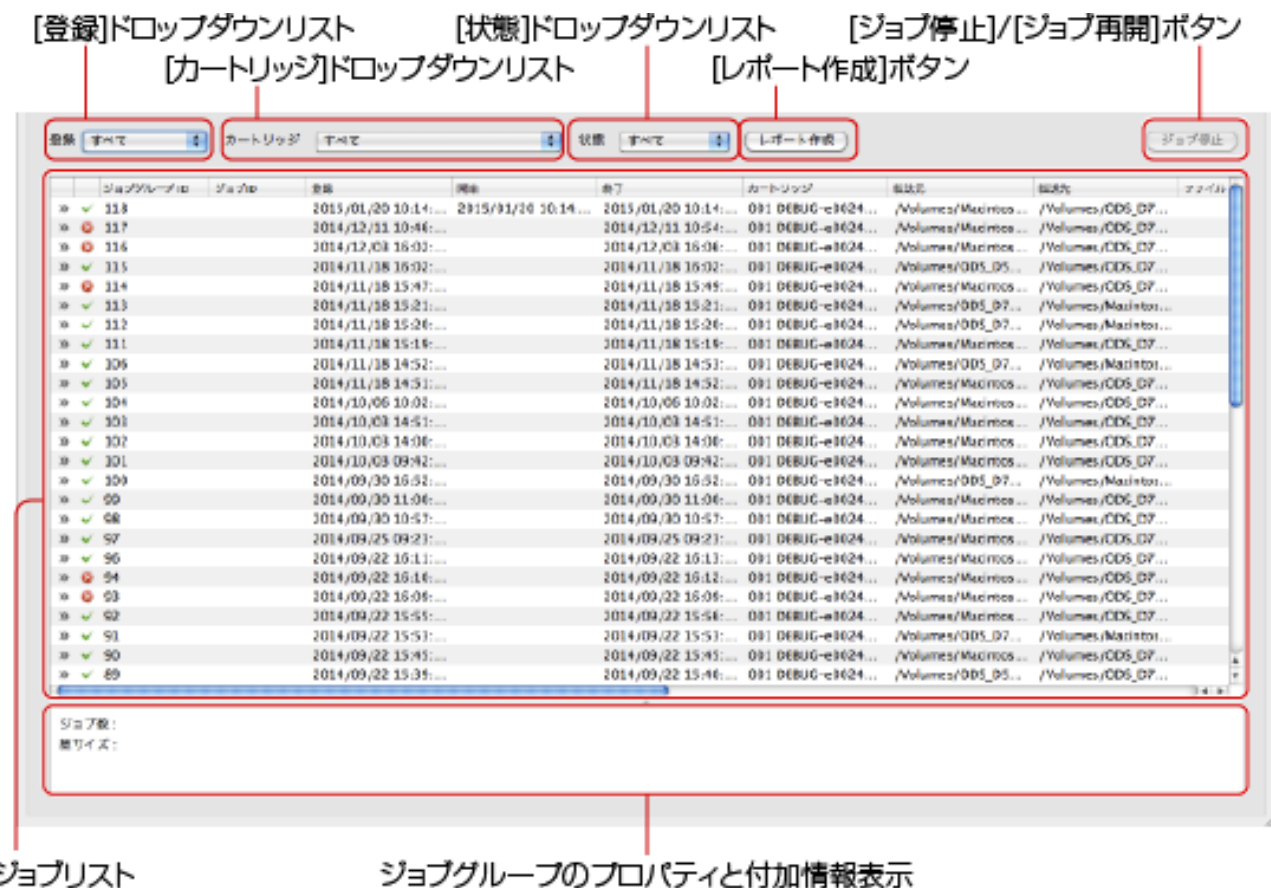
ツリー部で Optical Disc Archive Drive のボリュームを選択した場合に以下の情報を表示します。

- ボリュームラベル
- 使用領域、空き領域
使用済み（灰色）：[完了]/[失敗]/[キャンセル] ステータス
予約済み（青色）：[登録済み]/[実行中]/[サスペンド] ステータス
- メディアタイプ
- ディスク番号
最終記録ディスク番号、現在ロードしているディスク番号を表示します。
例）Disc 最終記録ディスク番号 / 12 (Loaded: 現在ロードしているディスク番号)

ジョブリスト画面

登録されたジョブグループが、新しいものから順にリスト表示されます。ジョブグループは最大 1,000 件表示され、1,000 件を超えると古いものから削除されます。

画面は Mac の例です。



ジョブリスト

ジョブグループのプロパティと付加情報表示

[カートリッジ] ドロップダウンリスト

リストを Optical Disc Archive ポリウムラベルでフィルタリングすることができます。

[登録] ドロップダウンリスト

ジョブグループを登録した日付でフィルタリングすることができます。古いジョブグループが削除されたら、関連する登録日はクリアされます。

[状態] ドロップダウンリスト

ジョブグループの[状態]でリストをフィルタリングすることができます。ジョブグループを展開すると、各ジョブの[状態]でリストをフィルタリングすることができます。

[レポート作成] ボタン

表示されているジョブグループのレポートを出力します。フィルタリングされていたら、フィルタリング後のジョブグループのレポートを出力します。

[ジョブ停止] ボタン (停止中は[ジョブ再開] ボタン)

ジョブの実行を停止 / 再開します。

ジョブリスト

ジョブグループがリスト表示されます。ジョブグループをクリックするとジョブグループ内のジョブが展開してリスト表示されます。

項目名	内容
ジョブグループ ID	ジョブグループを識別する ID
ジョブ ID	ジョブを識別する ID
登録	ジョブグループの登録日時が表示されます。

項目名	内容	
開始	ジョブグループの Job ID = 1 の処理が開始された日時が表示されます。	
終了	ジョブグループの終了した日時が表示されます。	
カートリッジ	ジョブグループ登録時のボリュームラベルが表示されます。	
転送元	転送元のパスが表示されます。	
転送先	転送先のパスが表示されます。	
ファイル	転送先のファイル名 (リネームされた場合はリネームされたファイル名) が表示されます。	
サイズ	ファイルのサイズが表示されます。	
MD5	MD5 値が表示されます。	
項目名	ジョブのステータス	内容
状態	登録済み	実行待ちのジョブ
	実行中	実行中のジョブ
	サスペンド	[ジョブ停止] ボタンを押して停止中のジョブ
	完了	完了したジョブ
	失敗	失敗したジョブ
	キャンセル	キャンセルされたジョブ
項目名	ジョブグループのステータス	内容
状態	待ち	実行待ちのジョブグループ
	完了	すべてのジョブが完了したジョブグループ
	部分完了	完了したジョブと失敗したジョブとキャンセルしたジョブが混在しているジョブグループ
	実行中	実行中のジョブグループ
	失敗	失敗したジョブとキャンセルしたジョブ、登録済みのジョブが混在しているジョブグループ
	キャンセル	キャンセルしたジョブのみのジョブグループ
	サスペンド	[ジョブ停止] ボタンを押して停止中のジョブがあるジョブグループ
項目名	内容	
ジョブグループの進捗 (各ジョブの進捗)	各ジョブグループの進捗 (プログレスバー、パーセンテージ) と推定残り時間が表示されます。ジョブグループを展開させると、各ジョブの進捗 (プログレスバー、パーセンテージ) と推定残り時間が表示されます。	

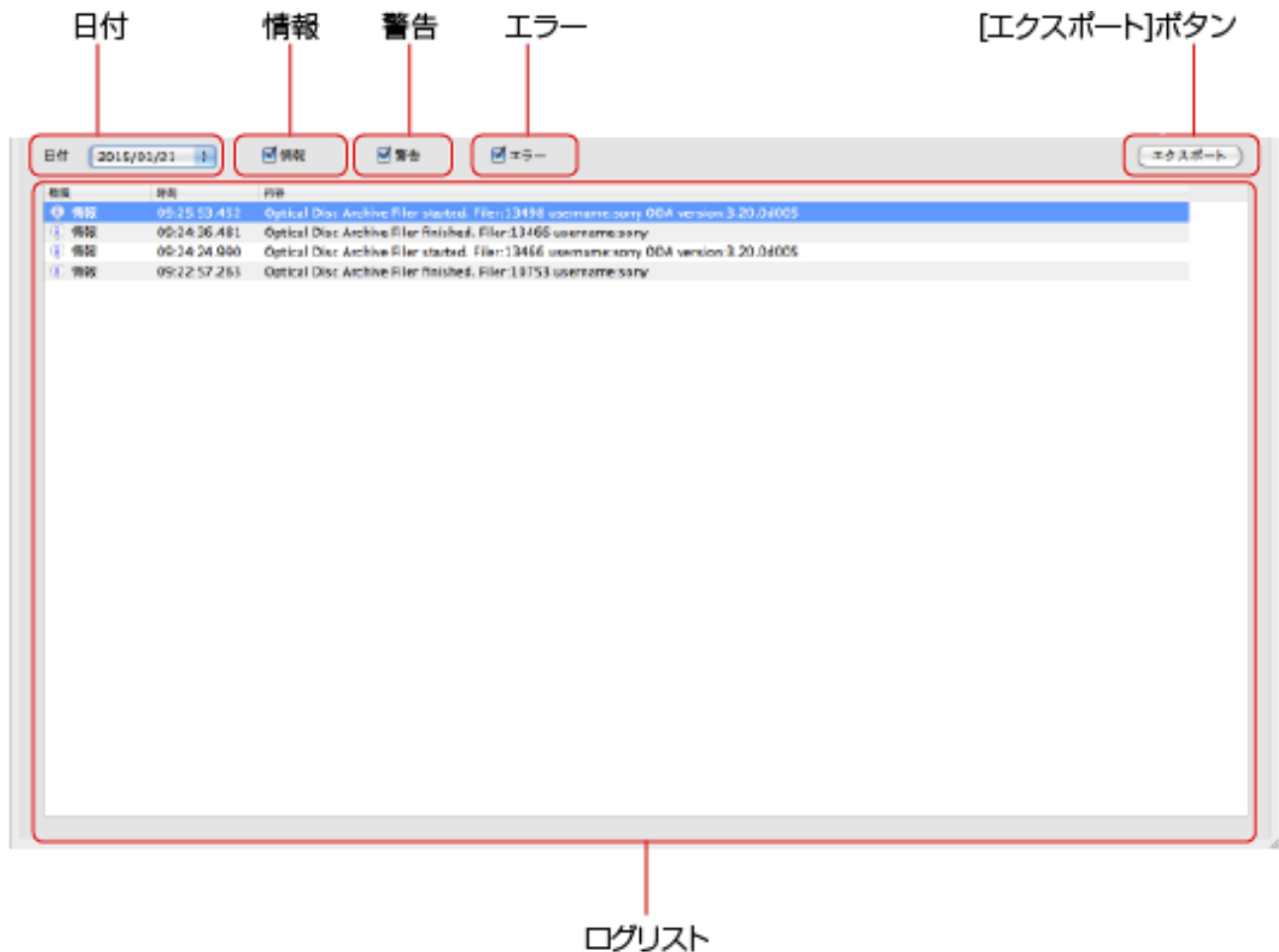
ジョブグループのプロパティと付加情報表示

選択したジョブグループのプロパティ (ジョブ数、総サイズ) と付加情報 (エラーの詳細説明) が表示されます。

ログ画面

本ソフトウェアで発生した不具合のログ / ジョブグループの操作のログ / ジョブグループの実行結果のログが表示されます。

画面は Mac の例です。



日付

ログを表示したい日付を選択します。

▼をクリックすると、ログのある日付がリスト形式で表示されます。

情報

ログの種類 [情報] でフィルタリングされます。

警告

ログの種類 [警告] でフィルタリングされます。

エラー

ログの種類 [エラー] でフィルタリングされます。

[エクスポート] ボタン

ログを任意の場所にエクスポートします。

ログリスト

不具合のログがリスト表示されます。

ログを選択、右クリックして表示されるコンテキストメニューから [詳細 (D)] を選択すると詳細のダイアログが表示されます。

関連項目

ジョブグループを操作する

メニューバーの項目

メニューバーには、以下のメニューおよびコマンドが用意されています。

Windows のメニューバー

ファイルメニュー

- 閉じる
本ソフトウェアのウィンドウを閉じます。
- 新しいウィンドウ
新しいウィンドウを起動します。ウィンドウは4つまで起動できます。

表示メニュー

- 更新
表示部 / 操作部の表示内容を最新の情報に更新します。なお、ログ画面では、ログが再ソートされて表示されます。
- ウィンドウサイズを規定値に戻す
変更したウィンドウサイズを規定値に戻します。
- ウィンドウレイアウトを規定値に戻す
変更したウィンドウレイアウト（ファイル / フォルダー表示部、ジョブリスト、ログリスト）を規定値に戻します。

ツールメニュー

- 設定
Optical Disc Archive Filer の動作を設定するダイアログが表示されます。

操作メニュー

ジョブグループを操作します。

- ジョブグループレポート作成
選択したジョブグループのレポートを出力することができます。
- ジョブグループキャンセル
[サスペンド] 状態のジョブグループをキャンセルすることができます。
- ジョブグループ削除
[待ち] 状態のジョブグループを削除することができます。
- ジョブグループ再登録
選択したジョブグループを再登録することができます。

FTP メニュー

- [ホスト登録]
[ホスト登録] ダイアログが表示されます。

ご注意

すべての FTP ボリュームと未接続のときのみ、ホスト登録することができます。

- [接続]
メイン画面のツリー部（上）で選択している FTP ボリュームに接続されます。
- [切断]
メイン画面のツリー部（上）で選択している FTP ボリュームが切断されます。

ヘルプメニュー

- Optical Disc Archive Filer のヘルプ
本ソフトウェアのヘルプ（このヘルプウィンドウ）が表示されます。
- Optical Disc Archive Filer のバージョン情報
バージョン情報のダイアログが表示されます。

Mac のメニューバー

Optical Disc Archive Filer メニュー

- Optical Disc Archive Filer について
バージョン情報のダイアログが表示されます。
- 環境設定
Optical Disc Archive Filer の動作を設定するダイアログが表示されます。
- サービス
OS のサービスメニューを呼び出します。
- Optical Disc Archive Filer を隠す
Optical Disc Archive Filer のウィンドウを Dock に隠します。
- ほかを隠す
Optical Disc Archive Filer 以外のウィンドウを Dock に隠します。
- すべてを表示
Dock に隠したウィンドウをすべて表示します。
- Optical Disc Archive Filer を終了
Optical Disc Archive Filer を終了します。

ファイルメニュー

- 閉じる
Optical Disc Archive Filer を終了します。
- 新しいウィンドウ
新しいウィンドウを起動します。ウィンドウは4つまで起動できます。

表示メニュー

- 更新
更新表示部 / 操作部の表示内容を最新の情報に更新します。なお、ログ画面では、ログが再ソートされて表示されます。

操作メニュー

ジョブグループを操作します。

- ジョブグループレポート作成
選択したジョブグループのレポートを出力することができます。

- ジョブグループキャンセル
[サスペンド] 状態のジョブグループをキャンセルすることができます。
- ジョブグループ削除
[待ち] 状態のジョブグループを削除することができます。
- ジョブグループ再登録
選択したジョブグループを再登録することができます。

FTP メニュー

- [ホスト登録]
[ホスト登録] ダイアログが表示されます。

ご注意

すべての FTP ボリュームと未接続のときのみ、ホスト登録することができます。

- [接続]
メイン画面のツリー部（上）で選択している FTP ボリュームに接続されます。
- [切断]
メイン画面のツリー部（上）で選択している FTP ボリュームが切断されます。

ウィンドウメニュー

- しまう
Optical Disc Archive Filer のウィンドウを Dock に隠します。

ヘルプメニュー

- Optical Disc Archive Filer のヘルプ
本ソフトウェアのヘルプ（このヘルプウィンドウ）が表示されます。

関連項目

各部の名称と働き

設定する

ジョブグループを操作する

設定する

Optical Disc Archive Filer の詳細な動作を設定します。

<Windows>

メニューバーのツールメニューから [設定] をクリックすると、設定のダイアログが表示されます。

<Mac>

メニューバーの [Optical Disc Archive Filer メニュー] > [環境設定] をクリックすると、設定のダイアログが表示されます。

設定項目

- アーカイブ / リトリブ設定
 - ファイルまたはフォルダーの転送に失敗したとき
ファイルまたはフォルダー転送に失敗したときの動作を次の二つから選択します。
: [直ちに中断する。] / [スキップする。]
 - 転送先に同一名のファイルが存在するとき
転送先に同一名のファイルが存在するときの動作を次の三つから選択します。
: [上書きをしない。] / [同一名で上書きをする。] / [別名で保存する。]
 - 転送先に同一名のフォルダーが存在するとき
[フォルダーを統合する。] : チェックボックスにチェックを入れると、転送先に同一名のフォルダーが存在するときにフォルダーが統合されます。
 - アーカイブの後に厳密にデータ比較を行うとき
[MD5 チェックサムを有効にする。] : チェックボックスにチェックを入れると、アーカイブの後に MD5 チェックサムでデータの確認を行います。
 - リトリブの後に厳密にデータ比較を行うとき
[MD5 チェックサムを有効にする。] : チェックボックスにチェックを入れると、リトリブの後に MD5 チェックサムでデータの確認を行います。
 - 単一のファイルが複数のディスクにまたがって記録されることを制限するとき
[Disc spanning を制限する。] : チェックボックスにチェックを入れると、単一のファイルが複数のディスクにまたがって記録されることが少なくなるように制限することができます。
 - カートリッジの空き領域が不足したとき
[別カートリッジにファイルを転送する。] : チェックボックスにチェックを入れると、
 - アーカイブジョブ登録確認ダイアログの [空き領域が不足したとき、別カートリッジにファイルを転送する。] チェックボックスにデフォルトでチェックが入るようになります。
 - ジョブリストに未完了のジョブがある場合にジョブ登録ができなくなります。

ご注意

ジョブリストに未完了のジョブが存在するときに [別カートリッジにファイルを転送する。] チェックボックスにチェックを入れることはできません。

- ジョブレポート
チェックボックスにチェックを入れると、ジョブグループが終了したときに自動的にレポートが出力されます。また、出力するファイルの種類（テキストファイルまたは CSV ファイル）と出力先を指定できます。

- ジョブ登録

チェックボックスにチェックを入れると、ジョブグループを登録するときに確認ダイアログを出さないように設定されます。

[出荷時設定に戻す] ボタン

[出荷時設定に戻す] ボタンをクリックすると設定ダイアログの表示がすべて出荷時の設定内容に変わります。

[OK / キャンセル] ボタン

[OK] ボタンをクリックすると、設定ダイアログで設定したすべての変更を反映 / 保存して設定ダイアログが閉じます。[キャンセル] ボタンをクリックすると、変更を反映 / 保存せずに設定ダイアログが閉じます。

関連項目

メニューバーの項目

ファイルを転送する（アーカイブ / リトリートする）

Optical Disc Archive Drive のボリュームとローカルボリュームの間でファイルやフォルダーをドラッグアンドドロップするだけでファイル / フォルダーの転送（アーカイブまたはリトリート）を行うことができます。また、Optical Disc Archive Drive のボリューム全体（カートリッジ1巻分）をコンピューター上のローカルボリュームなどに転送（リトリート）することができます。

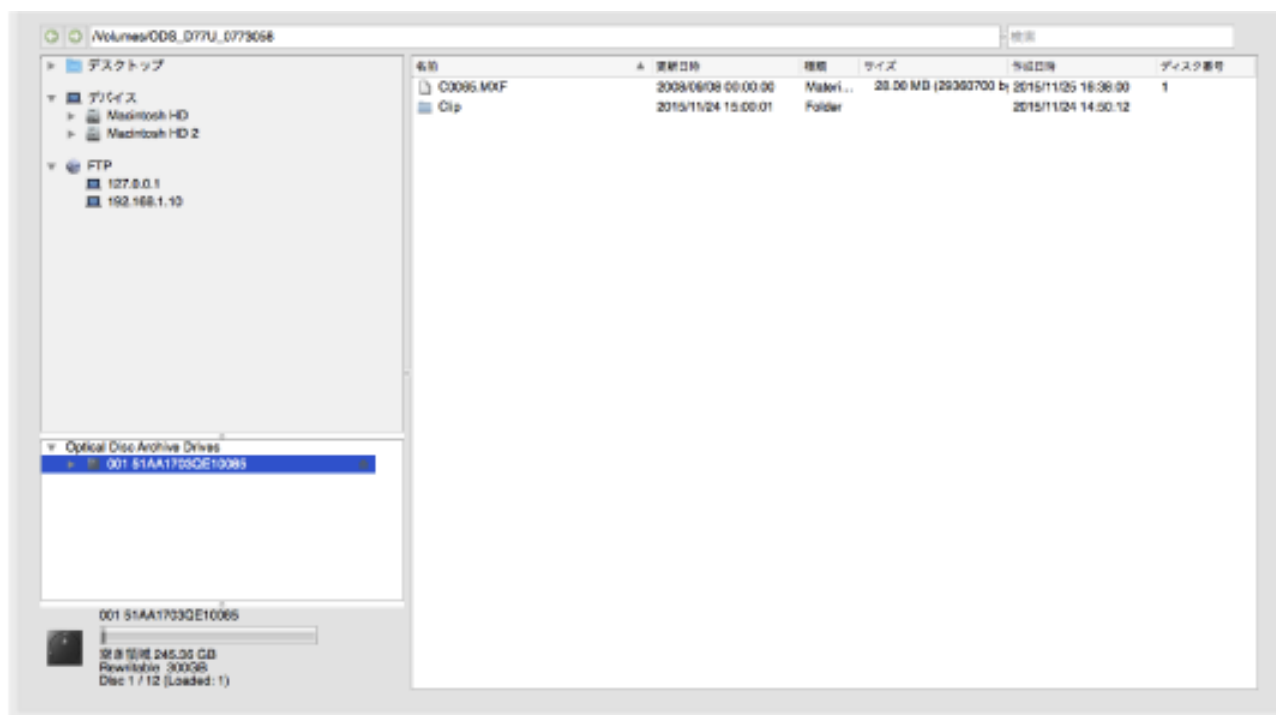
ドラッグアンドドロップ操作の代わりに、ショートカットキー操作でファイル / フォルダーを選択、コピー、貼り付けて転送を指示することもできます。

ご注意

- Optical Disc Archive Utility のメディア操作（ファイナライズ、フォーマット、ロールバックなど）を行っている間は、ジョブグループの登録を行うことはできません。ただし、ロールバックによるリードオンリーマウントしている間はジョブグループの登録を行うことができます。
- 同じ Optical Disc Archive Drive のボリューム内でのファイル / フォルダーの転送や、同一コンピューター上のローカルボリューム間のファイル / フォルダー転送を行うことはできません。
- Optical Disc Archive Drive のボリューム全体をコンピューター上のローカルボリュームなどに転送（リトリート）する場合、転送先にはボリューム名ではなくユニークなカートリッジシリアル番号が付加されたフォルダ名でフォルダが作成されます。お客様が Optical Disc Archive Drive のボリューム名を初期値から変更された場合は、転送元のボリューム名と転送先のフォルダ名が異なる点にご留意ください。なお、Optical Disc Archive Drive のボリューム名の初期値は、カートリッジシリアル番号付きのフォルダ名で設定されるため、初期値を変更しない限り転送元のボリューム名と転送先のフォルダ名は同じになります。また、コンピューターのローカルボリューム上に、既に Optical Disc Archive Drive のカートリッジシリアル番号付きのボリューム名と同じ名称のフォルダが存在する場合は、カートリッジのボリューム全体を転送することはできません。この場合は、ローカルボリュームに存在するフォルダ名の末尾に _org を付加するなどの変更を行なった上で、Optical Disc Archive Drive のボリューム全体をローカルボリュームに転送してください。
- Win Explorer/Mac Finder などの他のアプリケーションによるファイル / フォルダーの転送を行っている間は、ジョブグループを実行できません。
- ジョブグループを実行している間は、Win Explorer/Mac Finder などの他のアプリケーションによるファイル / フォルダーの転送を行うことはできません。

メイン画面

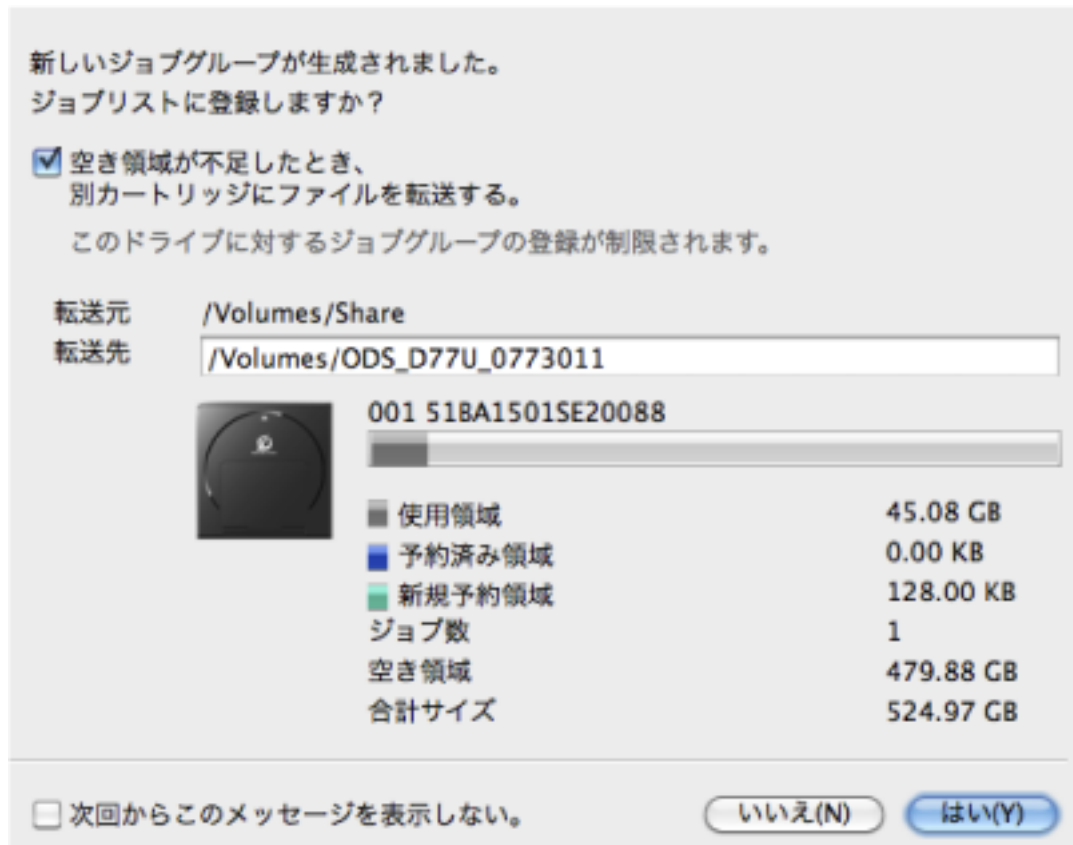
画面は Mac の例です。



アーカイブ / リトリブ操作

1. タブで [メイン] を選択する
メイン画面が表示されます。
2. ツリー部から転送元のボリュームを選択する
3. 画面右側から転送するファイルまたはフォルダーを選択し、ツリー部の転送先ボリュームヘドラッグアンドドロップする
ジョブリストへの登録を確認するダイアログが表示されます。

画面は Mac の例です。



ヒント

- ファイル / フォルダをドラッグ中に Esc キーを押すと、ドラッグ操作をキャンセルすることができます。
- ジョブグループを登録できないという内容のダイアログが表示される場合があります。メッセージに従って登録し直してください。
- 1回のドラッグアンドドロップ操作で指示されたファイル / フォルダ転送をひとつのジョブグループとして登録します。ドラッグアンドドロップ操作の代わりに、ショートカットキー操作でファイル / フォルダを選択、コピー、貼り付けて転送を指示することもできます。
- 複数のファイル / フォルダを一度に選択することもできます。
ジョブグループの中の、ひとつひとつのファイル / フォルダ転送をジョブと呼びます。
- ダイアログを表示させずに、すぐにアーカイブやリトリブを始めるように設定することもできます。(設定は、設定ダイアログで元に戻すことができます。)
- [空き領域が不足したとき、別カートリッジにファイルを転送する。] チェックボックスにチェックを入れると、アーカイブジョブ実行中にカートリッジ領域が不足した場合、カートリッジを入れ替えて続きを別カートリッジに記録できるようになります (アーカイブ時のみ)。なお、連続で記録した各カートリッジのデータを同じディレクトリにリトリブすることで登録時のファイル / フォルダの構造を復元できます。

ご注意

- ジョブリストに未完了のジョブが存在するときに [空き領域が不足したとき、別カートリッジにファイルを転送する。] チェックボックスにチェックを入れてジョブを登録することはできません。
- 同一アーカイブジョブグループで連続記録したカートリッジの組み合わせは、ジョブグループレポートで確認できます。
- アーカイブする各ファイルの最大サイズは、アーカイブに使用するカートリッジの容量を超えることはできません。

4. [はい] をクリックする

ジョブグループとしてジョブリストに登録され、アーカイブまたはリトリートが始まります。

ご注意

- 他のアプリケーションがファイルにアクセスしているときは、アーカイブまたはリトリートは実行されません。
- 1ファイルだけアーカイブ / リトリートするときに空き領域が不足していると、ジョブグループ登録時に警告ダイアログで通知され、アーカイブ / リトリートすることができません。空き領域が十分なカートリッジまたはローカルボリュームをご使用ください。
- 複数ファイルをアーカイブ / リトリートするときに空き領域が不足していると、ジョブグループ登録時に警告ダイアログで通知され、すべてのファイル / フォルダをアーカイブ / リトリートすることができません。登録を続行すると、警告されていないファイル / フォルダはアーカイブ / リトリートされて、警告されたファイル / フォルダは実行されずにジョブ失敗となります。なお、ジョブグループ登録時の空き領域の計算は既に登録されているジョブグループも考慮されています。

ヒント

[ジョブグループ再登録] を利用することで、失敗したジョブだけを別カートリッジまたは別ローカルボリュームに登録することができます。

例：100 ファイルをカートリッジ A にアーカイブしようとしたときに空き領域が不足したために 20 ファイルが実行されずに失敗した場合、[ジョブグループ再登録] で、残りの 20 ファイルを別のカートリッジ B にアーカイブさせることができます。

関連項目

メニューバーの項目

設定する

FTP サーバーからファイルを転送する（アーカイブする）

FTP を使ってネットワークを介した対象機器からファイルを転送し、アーカイブすることができます。対象機器をあらかじめホストとして登録する必要があります。

対象機器はリリースノートをご確認ください。

ご注意

対象機器にファイルを転送することはできません。

ホストを登録するには

1. FTP メニューから [ホスト登録] を選択する
[ホスト登録] ダイアログが表示されます。
2. [新規ホスト] ボタンまたは [編集] ボタンをクリックする
[ホスト設定] ダイアログが表示されます。
3. 下記の項目を入力し、[登録] ボタンをクリックする
 - [登録名]
ホスト登録ダイアログに表示させる名称を入力します。
 - [ホスト名 (IP アドレス) :]
接続するホストの名称、または IP アドレスを入力します。
 - [ユーザー名 :]
ホストに接続するときのユーザー名を入力します。
 - [パスワード :]
ホストに接続するときのパスワードを入力します。入力したパスワードは「・」で表示されます。
 - [ポート番号 :]
ホストのポート番号を入力します。デフォルトでは、「21」が設定されます。
 - [PASV モード]
パッシブモードで転送を行う場合にチェックボックスをオンにします。ホストが登録されます。登録されたホストは、メイン画面のツリー部（上）にボリュームとして表示されます。

ホストの情報を変更するには

1. FTP メニューから [ホスト登録] を選択する
[ホスト登録] ダイアログが表示されます。
2. 情報を更新するホストをリスト内から選択し、[編集] ボタンをクリックする
[ホスト設定] ダイアログが表示されます。
3. 更新する情報を編集し、[登録] ボタンをクリックする
ホストの情報が更新されます。

ホストを削除するには

1. FTP メニューから [ホスト登録] を選択する
[ホスト登録] ダイアログが表示されます。
2. 削除するホストをリスト内から選択し、[削除] ボタンをクリックする
ホストが削除されます。

ホストを接続するには

1. メイン画面のツリー部（上）で、接続する FTP ボリュームを選択する
2. FTP メニューから [接続] を選択する
選択した FTP ボリュームに接続されます。

ご注意

お使いのコンピュータでファイアウォールが有効になっていると、接続がブロックされることがあります。接続がブロックされる時は、[ホスト設定] ダイアログの [PASV モード] のチェックボックスをオンにすると接続できるようになります。

ホストを切断するには

1. メイン画面のツリー部（上）で、切断する FTP ボリュームを選択する
2. FTP メニューから [切断] を選択する
選択した FTP ボリュームが切断されます。

ジョブグループを操作する

本ソフトウェアでは、1回のドラッグアンドドロップ操作で指示されたファイル / フォルダ転送をひとつのジョブグループとしてジョブリストに登録して管理しています。

ドラッグアンドドロップ操作の代わりに、ショートカットキー操作でファイル / フォルダを選択、コピー、貼り付けて転送を指示することもできます。

ジョブリスト画面を表示させる

1. タブで [ジョブリスト] を選択する
ジョブリスト画面が表示されます。

ジョブグループ操作の制限

本ソフトウェアは各ジョブを直接操作することはできません。ジョブグループ単位で操作します。

ジョブの実行中は以下の操作を行うことができます。

- 新規ジョブグループの登録
- 実行中のジョブの停止

ジョブグループの停止

ジョブグループの実行中にジョブリスト画面の [ジョブ停止] ボタンを押すと、実行中のジョブグループが停止します。

ジョブグループの再開

ジョブグループの停止中にジョブリスト画面の [ジョブ再開] ボタンを押すと、停止中のジョブグループが再開します。

ジョブグループのキャンセル

状態が [サスペンド] のジョブグループをキャンセルすることができます。

ジョブグループをキャンセルする

1. ジョブグループの停止中に、[操作] メニュー > [ジョブグループキャンセル] を選択する
ジョブグループをキャンセルするかどうか確認するダイアログが表示されます。

ヒント

ジョブグループを選択、右クリックして表示されるコンテキストメニューから [ジョブグループキャンセル] を選択することもできます。

2. [はい] をクリックする
停止中のジョブグループがキャンセルされます。

ヒント

- キャンセルしたジョブグループの中で、すでに終了したジョブのファイルは転送先に残ります。
- 途中でキャンセルされたジョブの、途中まで転送されたファイルは、転送先から削除されます。

ジョブグループの削除

ジョブリストの中の [待ち] のジョブグループを削除することができます。

ジョブグループを削除する

1. ジョブグループの停止中に、ジョブリストの中からジョブグループを選択して [操作] メニュー > [ジョブグループ削除] を選択する
ジョブグループを削除するかどうか確認するダイアログが表示されます。

ご注意

[状態] が [待ち] のジョブグループのみ選択することができます。

ヒント

ジョブグループを選択、右クリックして表示されるコンテキストメニューから [ジョブグループ削除] を選択することもできます。

2. [はい] をクリックする
選択したジョブグループが削除されます。

ジョブグループの再登録

すでに終了したジョブグループを再登録できます。

1. ジョブリストの中からジョブグループを選択し、[操作] メニュー > [ジョブグループ再登録] を選択する。
ジョブグループを再登録するかどうか確認するダイアログが表示されます。
2. [はい] をクリックする。
選択したジョブグループが再登録されます。

ジョブグループのレポート

ジョブグループの実行停止中に、すでに終了したジョブグループのレポートを出力することができます。ジョブリスト画面の [レポート作成] ボタンを押して、ジョブグループのレポートを出力することもできます。

ジョブグループのレポートを作成する

1. ジョブリストの中からジョブグループを選択し、[操作] メニュー > [ジョブグループレポート作成] を選択する
レポートを出力するかどうか確認するダイアログが表示されます。

ご注意

終了した ([完了] [部分完了] [失敗] [キャンセル]) ジョブグループのみ選択できます。

ヒント

ジョブグループを選択、右クリックして表示されるコンテキストメニューから [ジョブグループレポート] を選択することもできます。

2. [はい] をクリックする
3. 表示された画面で、レポートの保存先を選択し [はい] をクリックする
レポートが出力されます。

ヒント

- ファイル形式は TXT/CSV 形式です。

- ファイル名は次のようになります。

Report_YYYYMMDD.txt

ジョブグループの順序変更

ジョブグループの停止中に、ジョブグループの順序を変更することができます。

1. ジョブグループを選択し、ドラッグする。

ジョブリスト上で連続したジョブグループであれば、複数のジョブグループを一度に選択することもできます。

ご注意

- [状態] が [待ち] のジョブグループのみ選択することができます。
- Optical Disc Archive Drive のボリューム全体をコンピューター上のローカルボリュームなどにコピーする場合、ローカルボリューム上にはカートリッジシリアル番号が付加された名称のフォルダが作成されますが、Job リストはボリューム名で表示されます。(17 ページの「ファイルを転送する (アーカイブ / リトリブする)」の章を参照)

関連項目

メニューバーの項目

各部の名称とはたらき

ログを表示させる

本ソフトウェアで発生した不具合のログを確認できます。

ログ画面を表示させる

1. タブで [ログ] を選択する

ログ画面が表示されます。

ログをエクスポートするには

1. [エクスポート] ボタンをクリックする
「名前をつけて保存」画面が表示されます。
2. ファイル名と保存する場所を指定し、[保存] ボタンをクリックする
「エクスポートを完了しました。」というメッセージが表示されます。
3. [閉じる] ボタンをクリックする
指定した場所にログがエクスポートされます。

ご注意

- 古いバージョンの Optical Disc Drive ファームウェアではドライブログを取得できないことがあります。
- カートリッジが挿入されているドライブからはドライブログを取得することができません。

関連項目

各部の名称と働き

ファイルリストを作成する

カートリッジに書き込まれたファイルの一覧を作成します。

ファイルリストを作成するには

1. Optical Disc Archive Drive のボリュームを右クリックして表示されるコンテキストメニューから [ファイルリスト作成] を選択する
「ファイルリストを作成しますか？」と表示されます。
2. [はい] をクリックする
保存先を確認するダイアログが表示されます。
3. 保存先を選択し [保存] をクリックする
「しばらくお待ちください」と表示された後、ファイルリストが出力されます。

ヒント

ファイル形式は CSV 形式です。

商標について

- Optical Disc Archive Drive ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標です。
- Mac および macOS や Finder は、米国 Apple, Inc. の米国およびその他の国や地域における登録商標です。